

提案書

各部政策検討プロジェクトチーム検討部会

(基本目標1 しごと応援プロジェクト)

入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略の各KPI向上のため、以下のとおり事業を推進することを提案します。

基本目標	1 働きやすいまちをつくる <しごと応援プロジェクト> (指標：市内従業者数 50,909 人→現状値以上)
------	---

基本施策	しごとの場を創る (KPI：市内事業所数 4,986 事業所→現状値)	
事業名	今後の事業取組方向	所管課
企業等誘致事業	企業等誘致事業と工場用地情報提供事業の2事業を統合し取り組むことを提案する。 埼玉県や入間市工業会等と連携し企業の市内進出希望情報等の収集に努め企業誘致の足掛かりとする。また、企業に対し、空用地の情報提供を行うことに留まらず、企業の進出意向や立地条件等の情報収集と併せての事業展開を検討する。	商工観光課
工場用地情報提供事業	同上	商工観光課

基本施策	しごと探しを支援する (KPI：支援による創業者数 - →年間 15 件)	
事業名	今後の事業取組方向	所管課
テイスティカフェ（入間市の雰囲気にあった Tasty！なカフェ誘致事業）	パッケージ化により「しごと探しを支援する」の基本施策に入っているが違和感があるため、「地域産業を振興する」の基本施策の地産地消飲食店支援事業に統合しての事業展開を検討する。	商工観光課

基本施策		地域産業を振興する (KPI: 商店街空き店舗数 25 店舗→16 店舗)	
事業名	今後の事業取組方向		所管課
狭山茶ショップ(金子駅周辺狭山茶アンテナショップの開設)	アンテナショップの代替処置として、昨年度は、「埼玉の旬を喰らう」狭山茶編において、観光協会と協働にて金子駅前のイベントを開催した。現実的には狭山茶を使用した商品が数多く開発されないとアンテナショップの運営は厳しく、また、現状の乗降客数で金子駅にアンテナショップを開設することは難しいため、消費者交流イベントを継続して実施することを検討する。		農業振興課
狭山茶商品開発事業(県や茶業者等と連携した狭山茶関連消費の開発、販売、PR)	今後は商工観光課で既に実施している取組(もちっと狭山茶・お茶×ショコラ・お茶×タルト・狭山茶キャラメル・いるまんじゅう・狭山茶コーラなどの狭山茶を活用した新商品開発)との連携を密にし、環境経済部内で調整を図りながら事業展開していく。		農業振興課
地産地消飲食店支援事業	今後は商工観光課で既に実施している取組(いるま豚の豚丼などグルメ開発事業)との連携を密にし、環境経済部内で調整を図りながら事業展開する。また、佐渡市で実施しているサドメシランなどを参考として、入間市産の食材等を提供する店舗を認定するなどの事業を展開する。		農業振興課
いるまマイクロバレー構想	「いるまマイクロバレー構想」は漠然としており、事業展開が困難な部分が多くある。事業名を変更して「先端産業振興事業」などとして鶴ヶ島ジャンクション周辺地域基本計画に伴う企業の新たな動きなども視野に入れながらの事業展開を検討する。		商工観光課
新 空き店舗活用創業支援事業	現在、商工観光課で実施している空き店舗活用創業支援事業(家賃補助、店舗改修補助)を総合戦略事業に位置づけ当該事業の周知の強化を図る。具体的には、純粋な空		商工観光課

	き店舗の活用以外の減少要因も含まれることから、内訳を確認し本来の目的に合った空き店舗の減少を推進する。また、他市町村の空き店舗活用の取組みなども参考にし、商店街・商工会と連携し空き店舗の継続した活用について検討する。さらに周知方法についても検討する。	
--	---	--

※行が足りないときは、適宜追加してください。